

ふゆ せい ざ み 冬の星座を見てみよう

ふゆ たいきちゆう すいじょうき すく かんそう くうき す とうめい ど たか
冬は大気中の水蒸気が少なく乾燥しているため、空気が澄んで透明度が高
よぞら ほし かんさつ さいてき きせつ さむ たいさく よる ほしぞら
く、夜空の星の観察には最適な季節です。寒さ対策をしっかりと、夜の星空
かんさつ
を観察してみましょう。 すいじょうき そら かす げんいん
※水蒸気は、空が霞む原因になる

ふゆ だいさんかく み ❄️冬の大三角を見つけよう❄️

ふゆ だいさんかく ざ ざ
冬の大三角はオリオン座のベテルギウスとおおいぬ座のシリウス、こいぬ座の
プロキオンをむすんでできるさんかくけい 三角形のことを言います。ふゆ せい ざ み めじるし
冬の星座を見つける目印
さか いろ もじ か ほし いっとうせい
になるので、探してみましょう。また、ピンク色の文字で書かれた星は一等星と

にくがん み もつと
いって、肉眼で見える最も
あか ほし
明るい星になります。

ふゆ いっとうせい いちねん なか
冬は一等星が一年の中
いちばんおお み そら くら
で一番多く見られ、空が暗
じかん はや
くなる時間が早いのも、
ほし かんさつ てき きせつ
星の観察に適した季節と
いえます。

ず	み	じき
1月中旬	22:30	ごろ
2月中旬	20:30	ごろ

ふゆ だいさんかく がつ
※冬の**大三角**は、11月～
がつころ み
3月頃まで見ることで
きます。

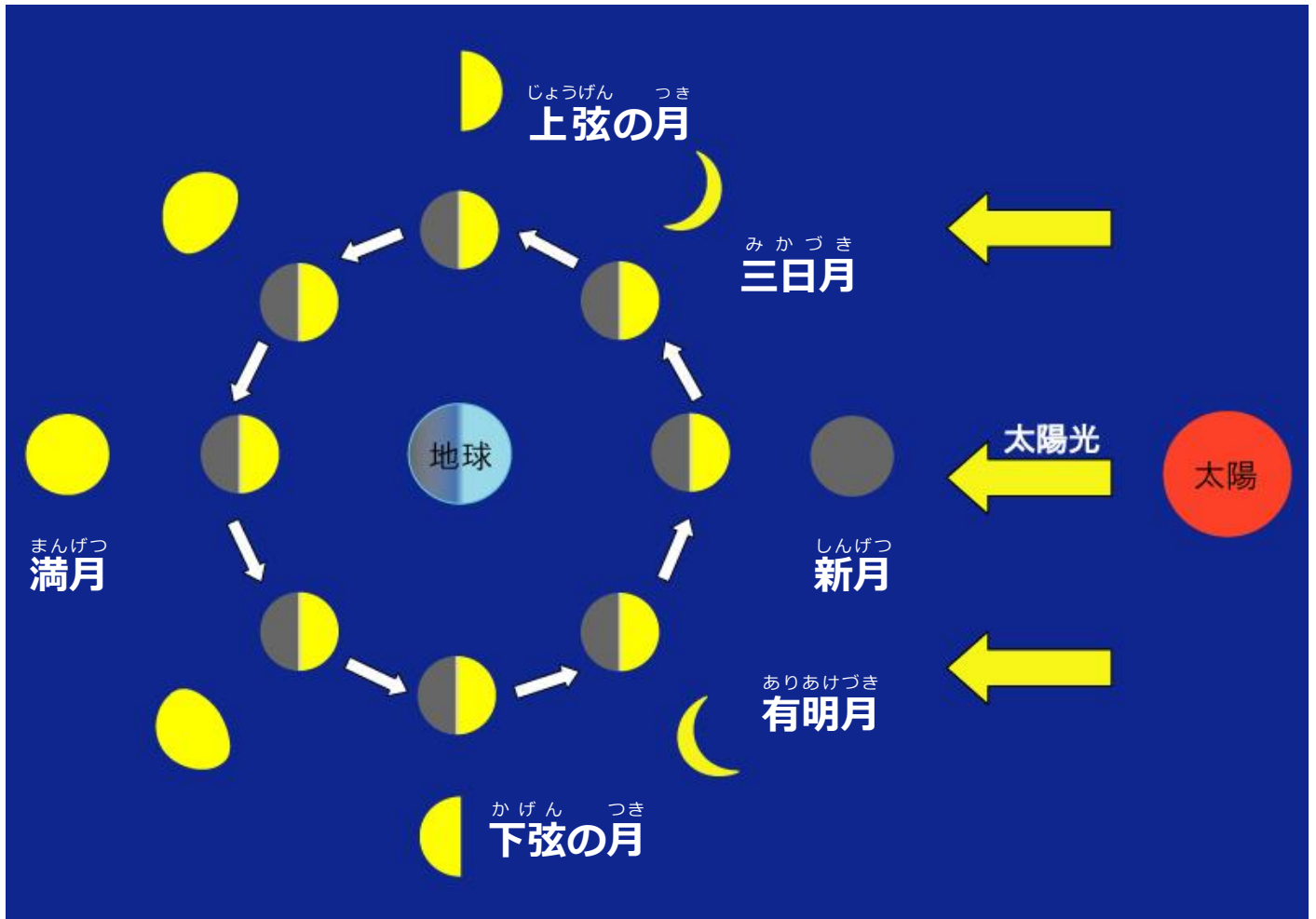




つき み か 月の満ち欠け

ほし かんさつ つき ひかり すく そら くら しんげつ てき つぎ
星の観察には、月の光が少なく空が暗い「新月」が適しています。次は
つき み か しょうかい
月の満ち欠けについて紹介します。

つき しんげつ がつ にち どようび
※次の新月は、1月28日（土曜日）です



つき みずか ひか てんたい たいよう ひかり はんしゃ かがや ちきゅう み
月は自ら光る天体ではなく、太陽の光を反射して輝きます。地球から見える
つき たいよう て ぶぶん かたち こっこく か つき み か
月は太陽に照らされた部分です。その形が刻々と変わるのは(月の満ち欠け)、
ちきゅう つき じてん こうてん たいよう いち かんけい か お
地球と月の自転や公転によって太陽との位置関係が変わるために起こります。
ちきゅう じかん じてん つき ちきゅう まわ やく にち こうてん
地球は約 24時間で自転し、月は地球の周りを約30日かけて公転していますか
ら、ちきゅう み つき み か しゅうき く かえ
地球から見える月の満ち欠けは、その周期で繰り返されるのです。

たいよう じてん こうてん
※太陽も自転・公転しています





ほし かんさつ きろく 星の観察記録

ねん 年	がつ 月	にち 日 ()	じ 時	ふん 分	ごろ 頃の空	ほうがく 【方角 : 】

み ほし なまえ 見た星の名前	ほし ようす きづ 星の様子や気付いたこと



星の観察記録の書き方

星は、日や時間によって、動きます。私たち人間に見える色や明るさ、大きさなどはそれぞれ違い、見える星座も季節によって違います。星を観察して、記録を作ってみましょう。

目立つ星を目印に、周りの星を探すと見つけやすいです。一日しか観察できないときは、時間を決めて（30分とか1時間ごと）、数日間観察できるときは、できるだけ毎日、同じ時間に観察すると、星座の形や向き、見える位置や動きなどの違いがわかりやすくなります。

観察した日付と時間、方角、天気などを書きます

2016年 12月 25日 (日曜日) 晴れ 夜9時40分 頃の空 【方角：南南東】

観察した星を、自由に絵で描いてみましょう

オリオン座の一部

見つけられた星の名前や、気づいたことを自由に書きましょう

見えた星の名前	星の様子や気付いたこと
オリオン座：ペテルギウス	赤っぽく光っていて、1番目に見つけられた。
オリオン座：リゲル	青白く光っていて、2番目に見つけやすかった。

